

エグゼクティブサマリ

第 I 部 イメージスキャナに関する調査

(1) 2020 年の出荷実績

2020 年のイメージスキャナの出荷実績は以下のとおりであった。

2020 年 イメージスキャナ市場	台数 (前年比)	金額 (前年比)
国内出荷と輸出を合わせた総出荷	291 万台 (3%減)	603 億円 (12%減)
フラットベッドスキャナ	93 万台 (1%減)	62 億円 (7%減)
ドキュメントスキャナ	197 万台 (4%減)	541 億円 (13%減)

2020 年のイメージスキャナの出荷実績は、コロナ禍の影響が大きく、台数では約 291 万台 (前年比 3%減)、金額では約 603 億円 (前年比 12%減) と、台数・金額ともに減少という結果となった。

フラットベッドスキャナ (A3 以下/50,000 円以下のフラットベッド) は、台数では 1%減、金額では 7%減となった。主に業務で紙文書の電子化や OCR などに使用されるドキュメントスキャナも、台数で 4%減、金額で 13%減となった。

(2) 2023 年までの出荷見通し

2023 年 イメージスキャナ市場	台数 (2020 年比)	金額 (2020 年比)
国内出荷と輸出を合わせた総出荷	310 万台 (7%増)	702 億円 (16%増)
フラットベッドスキャナ	90 万台 (4%減)	62 億円 (±0%)
ドキュメントスキャナ	220 万台 (12%増)	639 億円 (18%増)

2023 年のイメージスキャナの見通しは、経済の回復基調を踏まえ、台数では約 310 万台 (2020 年比 7%増)、金額では約 702 億円 (同 16%増) と見通した。

このうちドキュメントスキャナは、2020 年と比べて台数で 12%増、金額で 18%増となる見通しである。

一方、フラットベッドスキャナは、2020 年と比べて台数で 4%減、金額では±0%との見通しとなった。